

## 会 議 概 要

会 議 の 名 称	第2回 湧別町庁舎等検討委員会
開 催 日 時	令和4年7月27日(水) 19時00分 開会 20時30分 閉会
開 催 場 所	上湧別コミュニティセンター 2階大会議室
出 席 者 名	委 員：岩佐委員長、高橋副委員長、長谷川委員、樋口委員、 竹部委員、野津委員、毛利委員、吉村委員、橋本委員、 楨委員 町 ； 企画財政課 斉藤未来づくり担当課長、渡辺主幹 建設課 岩佐課長、宇佐美主幹 事務局：総務課 石塚課長、中川主幹、榎本主事
欠 席 者 名	無し
傍 聴 人 の 数	無し(報道機関 1名)
会 議 の 内 容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 審議 (1) 第1回 庁舎等検討委員会開催結果の確認 (2) 庁舎等集約化の検討 (3) その他 4 閉会
会 議 資 料	別紙のとおり
会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( <input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 ) <input type="checkbox"/> 無
備 考	

## 会 議 録

### 結果要旨

#### 1 開 会

#### 2 委員長あいさつ

#### 3 審 議

##### (1) 第1回 庁舎等検討委員会開催結果の確認について

総務課中川主幹から前回委員会で提供要望のあった情報について、配布資料を用いて説明。

##### 【質 疑】

○資料1（町内ドクターヘリ・ランデブーポイント）について、防災ヘリのランデブーポイントが限られている理由は。

→防災ヘリは着陸時に広い面積が必要となるため。

○集約検討施設の維持費について、中湧別小学校は前回配布された資料では示されていなかったが、前回会議で庁舎としての候補施設となったのか。

→前回会議の町長挨拶で、検討対象となる建物は既存の庁舎だけでなく、上湧別地区の義務教育学校を整備することに伴い遊休施設となる見込みの小学校があり、そのような施設も含めて検討願いたいとあったため、小学校の施設規模等を踏まえ、中湧別小学校を追加した。

##### (2) 庁舎等集約化の検討について

総務課中川主幹から、資料3を用いて庁舎の方向性の各視点（利便性・安全性・経済性・機能性）におけるメリット・デメリットを説明。また、湧別庁舎の安全性の面において、津波警報が出た際に災害対策本部を設置することになるが、当該庁舎が避難区域に含まれている状況であることを町としては憂慮していることを補足として説明。

資料説明後、追加が必要なメリット・デメリットについて各委員から質疑・意見をいただいた。

##### 【質疑・意見】

##### □共通

○前回の会議時に庁舎の理想として、防災拠点の役割が重要と発言したが、その際の「防災」の対象となる災害は、気象による自然災害だけでなく、一次産業における疫病の発生や大規模な事故も含めた災害と考えている。

その様な災害が発生した際は、関係機関からの応援等で多くの人員が配備されることなども想定され、相応の敷地が必要になるものと考えことから、示

された施設の敷地の広さについて、機能性の一つとして確認させていただきたい。

→既存の施設では、上湧別庁舎は、庁舎に隣接している地続きの敷地を確保することはできない。ただし、上湧別小学校等のグラウンドであれば確保ができる。湧別庁舎は町民憩の広場がある。中湧別小学校は既存施設の中では一番広く、敷地を確保することができる。庁舎を新たに建設する場合は、その点を考慮し建設場所を検討することができる。

状況によっては、対策本部を庁舎や庁舎近隣ではなく、道の駅に設置した事例もある。理想は庁舎や庁舎近隣に設置することだが、状況に応じて相応の敷地があるところに設置することも可能。

#### □上湧別庁舎

意見等なし。

#### □湧別庁舎

##### ◇経済性

○湧別庁舎は改修したところで今後も建物として使用は可能なのか。

→湧別庁舎を使用する場合、耐震改修が必要であり、改修は可能であると考えている。ただし、その改修をしても基本的に法定耐用年数が延長されることにはならない。

○将来的に庁舎の建て替えは必要になるのか。

→年数の長短はあるが、既存施設を活用した場合であっても、いずれかは庁舎の建て替えを検討する時期がくるものとする。

#### □文化センターTOM

##### ◇利便性

○資料2の記載のとおり、中湧別出張所は出張所にも関わらず戸籍・住民票等の申請件数が上湧別・湧別両庁舎と比較しても遜色ない点から利便性の高さが窺える。

一方、合併した両町の中心地に位置しており、利便性の面では町内からのアクセスは良いが、有事に他市町に援助を求めた際、町の中心部に位置するゆえに町外からのアクセスは悪くなるデメリットも含んでいると考える。

##### ◇経済性

○維持費について、文化センターTOMが上湧別・湧別両庁舎の合計額なみという点も注目すべき点。仮に文化センターTOMに庁舎を集約した場合、他の施設に庁舎機能を持たせる場合より、相対的に見たコストの削減に繋がるものとする。

## □中湧別小学校

### ◇安全性

○中湧別小学校の位置が、ハザードマップと照らし合わせると、浸水区域に近いところが気になるがいかがか。

→本町のハザードマップ上では、100年に1回程度発生する大雨（12時間・124mm）により湧別川が氾濫した場合、中湧別小学校は浸水区域として想定されていないが、1000年に1回程度発生する大雨（12時間・283mm）により湧別川が氾濫した場合は0.5～3.0m未満の範囲の浸水区域と想定している。ただし、湧別川の氾濫場所や中土場川の状況次第では、浸水区域が変わってくる点をご留意いただきたい。

## □新築庁舎

### ◇経済性

○新築することで既存施設より設備等の機能性が向上し維持費の削減が見込まれるが、既存施設を修繕して使用するより当然のことだが新築する場合は費用がかかる。

新庁舎建設費用と既存庁舎の修繕費用の差額分を、新庁舎と既存庁舎の維持費の差額分で埋め合わせるためには相当の期間が必要になると見込まれ、この点は庁舎の方向性を決める検討材料としてはとても重要と考える。

また、庁舎を新築し既存庁舎を取り壊すこととなった場合、相応の取り壊し費用がかかるため、その点はデメリットになるのではないかと考える。

→維持費の削減額で庁舎新築費用と既存庁舎の修繕費用の差額分を埋め合わせるには相応の時間がかかる。ただし、修繕した場合であっても、法定耐用年数の関係で、庁舎を新築する必要性がどこかで出てくる。その際、配布資料に記載した国からの交付税措置のある合併推進債が使えない見込みであることはご留意いただきたい。

### ◇その他

○当委員会は湧別町庁舎等検討委員会だが、この「等」の意味は何か。公共施設全体について検討すべきなのか、それとも庁舎のみのみを検討すべきなのか。

→庁舎の場所が決まらなければ、他の施設の適正な場所を検討することができない側面はあるが、庁舎の検討に伴い発生する空き施設について使い道を検討していただくことは問題ない。そのような状況も見込まれるため、委員会名に「等」を付けている。

○業務委託した基本構想の策定について、成果物はいつ提供されるか。

→当該委託業務は、本委員会における資料を作成するなどといった支援業務を主要業務としているため、都度、委員会で希望等のあった資料を作成し提供し

ていくこととなる。そのため、委託業務の完了による成果物を基にして本委員会で検討するという事にはならない。

○合併推進債の他に令和7年度までの期限である緊急防災・減災事業債は活用可能なのか。

→本事業債はあくまで防災拠点を整備する際に起債が可能なものであるため、ただ単に庁舎を集約するために起債できるものではないものとする。

#### □その他

○庁舎の方向性については、本委員会で意見を一致させたうえで、今後、協議を進めていくことになるのか。

→先に方向性を決めてしまうのではなく、今後、必要に応じた情報を提供していき、徐々に方向性を決めていくこととなると思う。

○集約した場合、現在庁舎のある地域の住民手続き等の対応はどうするのか。

→仮に集約した場合、庁舎がなくなった地域については、出張所などの窓口を設置する必要があると思う。

○答申の期限はいつまでか。

→財源の都合上、年内を目途にしている。

#### (3) その他

次回会議日程は、8月の開催に向けて日程調整を行うこととした。また、会議の開催場所を検討候補施設で順次開催することとした。

## 4 閉 会